

佐渡金銀山の世界遺産登録の早期実現に関する決議

佐渡金銀山は、16世紀後半から20世紀後半までの400年以上にわたる金生産技術の発展の歴史と金生産を支えた人々の鉱山集落等の変遷が、佐渡島という限られたエリアの中で目の当たりにできる世界でも希有な遺産群である。

昨年度、佐渡金銀山は国内推薦に至らなかったが、新潟県と佐渡市では、国から示された課題に対応した推薦書原案の改訂版を本年3月に国に提出するとともに、資産の保存・活用に向けた計画策定や来訪者受入体制の整備など、地域の宝である佐渡金銀山の価値に更に磨きをかけるべく、全力で取り組んでいる。

この取組を支援するため、佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議でも1,200を超える会員団体が県内外で様々な活動を行っており、多くの県民が早期の登録実現を心待ちにしている。

よって、本県民会議は、本年度の国からの推薦を強く求めるものである。

また、会員が一致協力して、佐渡金銀山の価値の周知や、将来の世代へ引き継ぐ保全活動等に一層取り組むことを宣言する。

以上、決議する。

平成28年5月17日

佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議